

2026 年 7 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社エンビプロ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 佐 野 文 勝
(コード番号：5698 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役 管理管掌 竹 川 直 希
(TEL. 0544-21-3160)

富士宮市との資源循環・緊急時ごみ処理に関する2つの協定締結のお知らせ

当社は、2026 年 7 月 2 日（木）、富士宮市（静岡県）と「資源循環の推進に関する包括連携協定」を締結いたしました。あわせて、当社連結子会社である株式会社エコネコル（本社：静岡県富士宮市、代表取締役社長：佐野 文勝、以下「エコネコル」）は、富士宮市と「緊急時における富士宮市の不燃ごみ処理に関する協定」を締結いたしました。同日、富士宮市役所において締結式が執り行われましたので、お知らせいたします。



1. 協定の概要

資源循環の推進に関する包括連携協定（富士宮市・当社）

富士宮市が進める資源循環の推進、ごみの減量化および資源化率の向上に向け、市と当社が相互に連携・協力するための基本的な枠組みを定めるものです。富士宮市が廃棄物処理の先進事例や事業者の技術・ノウハウを活用しながら市内の資源循環を進めるにあたり、当社グループは資源循環の知見を活かしてその推進に寄与してまいります。なお、本協定は法的な義務や財政支出を伴うものではありません。

緊急時における富士宮市の不燃ごみ処理に関する協定（富士宮市・エコネコル）

修繕、停電、トラブル、休止、自然災害、大規模火災等により富士宮市清掃センターでの破砕処理が困難となった場合に備えるものです。市内の一般廃棄物処理許可業者であるエコネコルが不燃ごみの処理に協力し、安定的なごみ処理体制の確保を図ります。

2. 協定締結の意義

当社グループは「持続可能社会実現の一翼を担う」をミッションに、サーキュラーエコノミーの推進を事業の核としています。本社を置く富士宮市と資源循環の推進で連携し、あわせて緊急時のごみ処理体制の確保に協力することは、地域の安定した廃棄物処理と資源化率の向上に資するものと考えております。

以上